



「出入管理機器委員会の活動について」

出入管理機器委員会 委員長 **横田 和典**
(三菱電機株式会社)



出入管理機器委員会は、出入管理機器の各種機器、導入状況、業種、業態等の調査を実施し、出入管理機器の普及を目的として活動しています。

このコラムでは、調査活動と普及活動の2つのご紹介いたします。

1 調査活動

まず、調査活動では、世の中の変化に対応した市場分野を対象に調査しております。例えば、世の中でフードディフェンスが騒がれた年には食品業界と、世の中がCloudに移行しつつあった年にはデータセンター業界などと意見交換してきました。

内容がセキュリティに関することなので、ほとんどの企業・団体は「この内容はここだけの話にしてください」ということで、最たる例では事前に守秘義務の誓約書に署名をしてから意見交換会を行ったということもありました。

また、世の中の変化に応じた調査と並行して、定点調査も行っております。その一つが海外のセキュリティ機器企業の日本への進出状況です。

海外視察などができればいいのですが、なかなかそういうわけにはいかず、毎年3月に東京で行われているSECURITY SHOWに出展している海外企業および海外企業の代理店・販売店の出展状況や出展内容を調査しております。

SECURITY SHOW2020は、全体で約130の企業・団体出展している内、約15社が海外企業または主に海外企業の製品を扱っている企業でした。その大半を占めるのが中華人民共和国、中華民国の企業でした。しかし、毎年出展している企業は少なかったです。

ただ、ご存知の通りSECURITY SHOW2020は、中止になりました。

2 普及活動

次に普及活動ですが、「こんな施設に、このようなセキュリティを導入してはいかがでしょう」という思いを込めて施設セキュリティの事例をホームページに掲載しています。文末の図は、協会のホームページに記載されている保育園のセキュリティの事例です。このホームページを作成した当時、いろいろな自治体で待機児童を減らす選挙公約が掲げられ、国は、保育園を新設する際に補助金を出すという政策がとられたので、当委員会で保育園のセキュリティを取り扱いました。

以上が、出入管理機器委員会の活動内容のご紹介です。

3 コラム

次に、コラムという観点で少々私見を述べさせていただきます。

出入管理機器委員会の活動スローガンを「参加企業のメリットとコンプライアンスの両立」を掲げています。

委員会に参加している企業だけでなく、会員会社や防犯設備士、総合防犯設備士の皆様に、何らかのメリットが無くては委員会を維持することができなくなります。今現在、定量的なメリットを表すことはできておりませんが、継続は力なりを信じて、参加企業のメリットを定量的に表せる指標を考えていきたいと思っております。

また、コンプライアンスでは、同業他社が集まる会合なので、十分な注意を払っております。万が一、疑われるようなことがあったら、その時点で委員会だけでなく協会の存続をも左右しかねないことにもなりかねません。委員会の活動では、同じ内容でもA社の社内規定では問題なくてもB社の規定では問題ありということが無いように、一番厳しい条件で活動しています。

また、当協会は、公益社団法人ですので、公平な立場で、特定の企業を利するような活動や不確実な情報を発信しないよう注意を払っております。

4 むすび

最後に、このコラムを執筆している最中、世の中は激変している真っ最中です。SECURITY SHOW2020が中止になり、在宅勤務が急速に普及し、4年に一度のスポーツイベントが延期になるなど、先が読めない時代になりつつあると感じています。防犯設備士・総合防犯設備士の皆様におかれましては、くれぐれもご自愛くださいませ。



ホームページに掲載している施設セキュリティの事例